

百里先の見える人は、世の中から気狂い扱いされる

「百里先の見える人は、世の中から気狂い扱いされる。

現状に止まるものは、落伍者となる

十里先を見て事を行うのが世の成功者である」 小林一三

時代の先を読んで成功した含蓄のある小林一三らしい言葉です。

最初は新聞記者を志したものの、夢かなわず三井銀行に入行した彼が財界人として成功するきっかけになったのが、当時の上司の岩下氏でした。

証券会社に転職した岩下氏が彼の才能を見込み、有馬電気鉄道(のちの京阪神急行電鉄)の創立をまかされました。

彼は沿線に住宅地を開発しないと鉄道利用者が増えないと考え、田園都市構想を具体化させ、始発駅の大阪にはデパートを、終着駅の宝塚には、宝塚少女歌劇団のミュージカルを見せる宝塚劇場を創りました。

アイディアに富んだとも言われますが、彼はしっかりと大衆が何を求めているか、時代は何を欲しがっているかその「時代を見る目」を事業をしながら鍛えていったのです。

(今泉正顕監修 『ひと味違う日本百名言』 ごま書房 より抜粋)